

汎用性のあるMJSのシステムだから、 顧問先に付加価値のあるサービスを提供することができるのです。

業務

ACELINK NX-Proは、 マルチで業務を行う会計事務所に 特化したシステム

複数画面を起動し、ページを切り替えるように操作できる「切替タブ」や、決算業務をスムーズに行えるよう「顧問先」をキーにしたデータ選択など『会計事務所が、より効率良く業務が行えるように』を考えた機能を搭載。

運営

業務効率化から顧問先 サービスまで、新たな機能で 事務所運営をサポート

入力⇒修正⇒履歴の管理と効率的で効果的な記帳業務を実現。11ヶ月前からの決算予測シミュレーションで納税予定額を算出して、顧問先の資金繰りをサポートし、会計事務所と顧問先の信頼関係を築く。

経営

CRMにより 事務所経営のための 情報を蓄積

ACELINK NX-Proを利用するだけで、日々の業務から顧問先別業務別の進捗を自動管理。事務所統合管理が会計事務所の安定した経営をサポート。



神谷研税理士事務所
ご利用システム/ACELINK NX-Pro
所在地/愛知県安城市
職員/4名【内資格者(税理士・行政書士)1名】

会計事務所 / 導入事例

会計事務所が担う業務の変化には システムの有効活用が最大のポイントとなります。

近年、会計事務所の業務内容にも変化があります。私自身も、顧客先が中国進出をしたため、海外財務について学びました。顧客は、税理士は何でも知っていると思い相談しますが、それに応えていくためには準備が必要です。「知らない」とは言えません、要求に応えられなければ顧客はすぐに離れてしまいます。

また、コンサルティング的な相談が増えています。顧客ニーズは多様化するともに税理士としての責任も重くなっています。例えば、試算表をはじめとする管理資料もその一つです。ただ、毎月同じものを提供しても意味がありません。「過去の資金繰り」ではなく、未来に向けた経営のヒントとなるものでなければなりません。そのためにも、顧客に提供できる「時期」がとても重要です。顧客が興味を持つ情報を適切な時期に顧客毎に提供することが事務所のカラーであり、各所長の考えが活かされる部分だと思っています。

その事務所のカラーを出していくためには、システムを最大限に活用していく必要があります。

会計事務所の業務効率、顧客サービス双方の面で 実績が出せるシステムです。

MJSシステムを利用する理由に会計システムとして、設計思想が優れている点があります。基本的なことですが、「テンキーだけで入力できる」「効率良く処理できるレイアウト」などがあげられます。会計事務所業務に精通したMJSだからできることです。

今回、導入したACELINK NX-Proでは、従来の基本的機能を継承しつつ、新たな技術で業務の効率をアップする機能が追加されています。特に、仕訳入力では、入力⇒修正がスムーズに行えるようになりました。利用者の立場で機能アップされているので、使っていて楽しくなります。

顧問先視点で考えると「科目が自由に設定できる」点が気に入っています。私の事務所では、単純に「これしかない」ではなく、提供する帳票を顧問先毎に変えています。例えば、試算表ですが一般的には流動性配列法です。しかし、固定資産がメインとなる業種では固定性配列法が良いでしょう。試算表の印刷順を99パターン設定できるMJSだからこそ、顧客に満足いただけるサービスとして事務所のカラーを出すことができます。

早く・正確な決算の実現に 会計大将の機能を活用しています。

現在、私の事務所では40日決算を実践しています。その理由は、顧客に納税予定額をできるだけ早く知らせることが大切だと考えているからです。

会計大将には「決算予測」機能があります。これは、決算前に未経過月の数値を予測して概算予測税額までを自動的に計算してくれます。更に予測値から固定資産の購入や保険の加入など私自身の経験値を織り交ぜながらシミュレーションを行います。数値を入力すればシステムが計算してくれますから操作はとても簡単です。

半年前、直前と決算予測を行っていますが、突然、新たな事実が出て決算数値が大きく変わることがあるため、現金主義であっても月末の洗い替えは必要だと思っています。「会計大将」には、よく利用する仕訳を雛型として登録しておく「定型仕訳」「振替伝票(定型仕訳)」という機能があります。決算に必須となる仕訳を事前に定型化しておけば、入力作業の簡素化だけでなく、入力漏れなどの単純なミスも防ぐことができます。これらの機能を利用すれば、正確な決算の早期化に繋がります。

汎用性の高いシステムだから 顧問先の自計化もスムーズに進みます。

顧問先の自計化にもMJS顧問先アプリケーションを利用しています。顧問先の自計化において大切なのが、仕訳入力を止めない事だと思っています。私の事務所では、「不明勘定」という科目を設定しています。顧問先は、「不明勘定」を使用することで確認してほしいという意思表示ができます。職員は、まずこの不明勘定から確認し、顧問先に答えます。これにより、徐々に不明が無くなり事務所の監査時間も短縮されてきます。会社データ毎に勘定科目が設定できるシステムだから、顧問先のニーズに応える事務所の業務効率アップにも貢献してくれています。

MJSには、固定摘要残高管理があります。勘定科目の枝番である補助管理を採用しなくても日々の仕訳入力を行えば補助簿が自動的に作成できるわけですから、とても便利です。顧問先側でも売掛帳や買掛帳との照合にも活用できます。また、補助の枝番として利用することで、更に詳細な管理が実現できます。

固定摘要残高は、決算内訳書への連動もできますから、決算の早期化にも繋がります。

海外や日本のどこにいても 事務所にいるように仕事ができます。

顧客からの要求に応えるという点で重宝しているのが「iCompassリモートPC」です。私は、常にノートパソコンを持ち歩いていますから、2、3月の確定申告の時期など移動時間でさえも惜しいですから、ちょっと時間が空いた時に事務所へ接続して仕事を済ませます。顧客との打ち合わせ中に、「前年の数字が見たい」という要求があれば事務所にいるようにデータ呼び出して確認することができます。資料を持ち歩く必要もないのでセキュリティやペーパーレスという面でも手放せない機能です。

海外や日本のどこにいてもiCompassリモートPCがあれば、私でなければできない業務も進められます。これにより、留守を預かる職員にも負担をかけることは少ないと思います。月額使用料も安価なので他の税理士の方もご利用になることをお勧めします。

他にも、インターネットを利用しないオフラインモジュールという機能も利用しています。仕訳の入力など長時間操作する時はオフラインのほうが使いやすいのでiCompassリモートPCと使い分けて効率良く行っています。

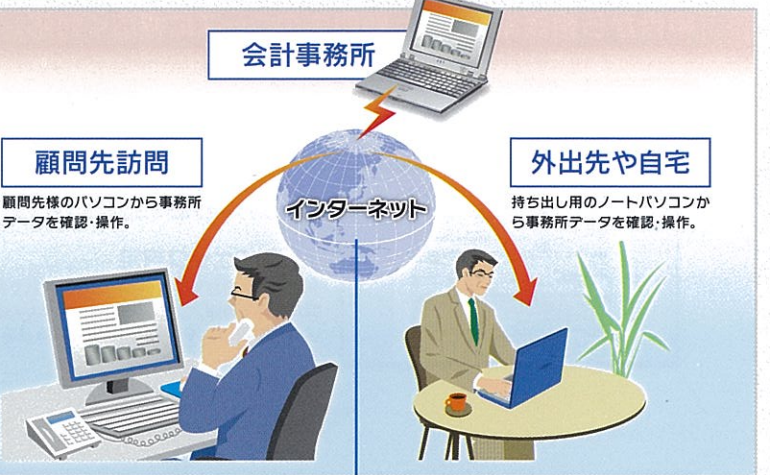
ACELINK NX-Proを使いこなして 更なる「業務の効率化」と「顧客サービス」を拡大していきます。

開業時、私一人でしたから、パソコン通信に強いMJSのシステムしか考えられませんでした。電話回線からインターネットへと時代は変わりましたが、今でも顧問先とのデータの送受信などは、大変便利です。

今回、ACELINK NX-Proを導入して私が感じるのは、使いこなしていけば様々な事務所の改善ができるということです。今、興味があるのは「進捗管理」です。仕訳入力や法人税申告書作成、電子申告を日々行うだけで顧問先別の進捗管理が行えます。職員の報告や私の感触ではなく、事実が明らかになるのですから、この機能を使い出したら離れられなくなります。順調だと思っていたら、蓋をあげてびっくりという結果が出る時もあるのではないのでしょうか。

他には、「動きが早い」ということです。仕訳入力時の操作性もアップしましたから大変使いやすいシステムになっています。

職員にとっては、複数の画面を同時に起動して処理ができる「切替タブ」も魅力的です。会計事務所の業務は一度に複数の資料を見比べることが多くあります。ACELINK NX-Proは、今まで机の上で行っていた資料の確認を画面上で行えるようになりました。



2つの申告書ページを表示しながら入力や確認できる「二画面表示」という機能がありますから、これからの確定申告時期には大活躍するでしょう。どれだけ効率化できるか、今から使うのが楽しみです。ペーパーレス化を進めている私の事務所にとっては、大変ありがたい機能です。ペーパーレスといえば、私の事務所では、国税も地方税も対応できるものは100%電子申告です。紙ベースの申告は、国税が受け付けてくれない相続税と贈与税だけになりました。これを機に事務所控も印刷をやめ、控えはMJSシステムの中で保管をしています。これも電子申告データを自動作成してくれるMJSシステムのお陰です。

最近、MJSを利用する税理士が集まるユーザー会に参加するようになり、他の先生方の話をお聞きすると、新たなシステムの活用法が聞くことが多々あります。先日は、システムの話をお聞きすると、新たなシステムの活用法が聞くことが多々あります。先日は、システムの話をお聞きすると、新たなシステムの活用法が聞くことが多々あります。先日は、システムの話をお聞きすると、新たなシステムの活用法が聞くことが多々あります。

ACELINK NX-Proは、慣れない部分もまだまだありますが、使いこなしていくという楽しさがあります。MJSには、今後も会計事務所とその顧問先に有益なシステムと情報の提供を期待します。